

エコアクション21

環境経営レポート

2023年4月～2024年3月



認証番号 0011382



すべての人々の幸せと発展のために。

SHINAGAWA

品川グループ エコアクション21事務局

作成日 2024年 9月 27日

— 目 次 —

1. 環境経営方針	P. 1
2. 会社概要	P. 2
3. 環境管理実施体制(組織図)	P. 3
4. 環境管理実施体制における役割	P. 5
5. 環境経営目標と実績	P. 6
6. 環境経営目標の中長期目標	P. 7
7. 環境経営計画・評価と今後(次年度)の取り組み	P. 8
8. 環境活動取り組み事例	P. 9
9. 環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無	P. 14
10. 代表者による見直し	P. 15

1. 環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

立山連峰から富山湾に至るまで、自然豊かな変化に富んだ地形を持った富山県に於いて事業を展開している品川グループは、環境問題への対応を経営の重要課題として位置づけ、自動車および産業車両・タイヤ・石油製品の販売・整備・レンタル・リースなど自動車関連事業全般を通じて環境負荷の低減と社会貢献活動に積極的に取り組みます。

今までもこれからも、私たち品川グループは、自動車および自動車関連事業を通じて、関係するすべての人々の、幸せと発展に寄与していきます。

＜基本方針＞

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、店舗でできる活動、個人でできる活動を継続的に行い環境改善に努めます。
2. 環境に関する法令・規則・富山県条例等および自主基準を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。
3. 事業活動におけるすべての分野で、電力使用量、ガソリン使用量、水使用量などの節減、化学物質の適正管理及び、廃棄物排出量の削減とリサイクルを推進します。
4. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、クリーンエネルギー車、省エネルギー車の普及をはかるとともにエコドライブの実践等、CO₂排出量の削減を目指します。
5. 「脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現」に向け、安心・安全で環境に優しい自動車（モビリティ）とサービスの提供および環境配慮型物品購入の拡大を推進します。
6. 定期的に環境監査を実施して、環境管理の維持向上に努めます。
7. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。
8. 社員一人ひとりがこの環境方針を理解し、環境保全意識の向上と活動の実践を図り、SDGsの取組みに繋がります。

平成27年	11月	4日	制定
令和3年	1月	8日	改定
令和5年	3月	1日	改定

品川グループ 代表
株式会社品川グループ本社 代表取締役
品川 祐一郎

２．品川グループ概要

< 概 要 >

品川グループは、1917年（大正6年）10月に創業者の品川忠蔵がタクシー事業として品川自動車商会を設立したのが起源となっている。タクシーのほかに1920年には乗合バス事業にも参入。

バス事業は1932年6月22日に富山電鉄自動車（現在の富山地方鉄道）へ譲渡している。

自動車輸送が原点となり、その後自動車販売や自動車関連事業を展開。

現在のトヨタ自動車の販売網のルーツは、1946年の富山トヨタ自動車販売（現在のトヨタモビリティ富山）の設立が起源となっている。

現在はトヨタ自動車のディーラー、ダイハツ工業のディーラー、トヨタレンタリースなどの自動車関連の企業などで構成される企業グループとなっている。

< 沿 革 >

2017年（平成29年）1月1日に、グループを持株会社へ移行し、グループ統括会社として株式会社品川グループ本社を設立した。

< グループ企業 > 2024年時点

自動車販売・整備

トヨタモビリティ富山株式会社

創業：1917年10月（品川自動車商会）

設立：2021年1月（富山トヨタ自動車株式会社、富山トヨペット株式会社、ネットトヨタノヴェルとやま株式会社を統合合併）

資本金：8000万円

従業員数：624人

自動車レンタル・リース

トヨタモビリティ富山株式会社レンタリース事業

（旧・株式会社トヨタレンタリース富山 2022年4月合併）

設立：1967年10月12日（株式会社トヨタレンタカーサービス富山）

富山ダイハツ販売株式会社

設立：1932年7月（品川自動車株式会社）

－ 品川グループ創業時の品川自動車商会が起源となっている。

資本金：2000万円

従業員数：200人

産業機械

トヨタL&F富山株式会社

設立：1986年7月（富山トヨタフォークリフト株式会社）

資本金：3000万円

従業員数：67人

山室重機株式会社

設立：1968年10月（山室トヨタ重機株式会社）

資本金：1000万円

従業員数：29人

本社・富山営業所：富山県富山市山室新町41番地

その他

株式会社品川グループ本社

事業概要：グループ各社の統括、不動産管理・賃貸

設立：1990年3月（株式会社トコシー）

資本金：8000万円

従業員数：181人

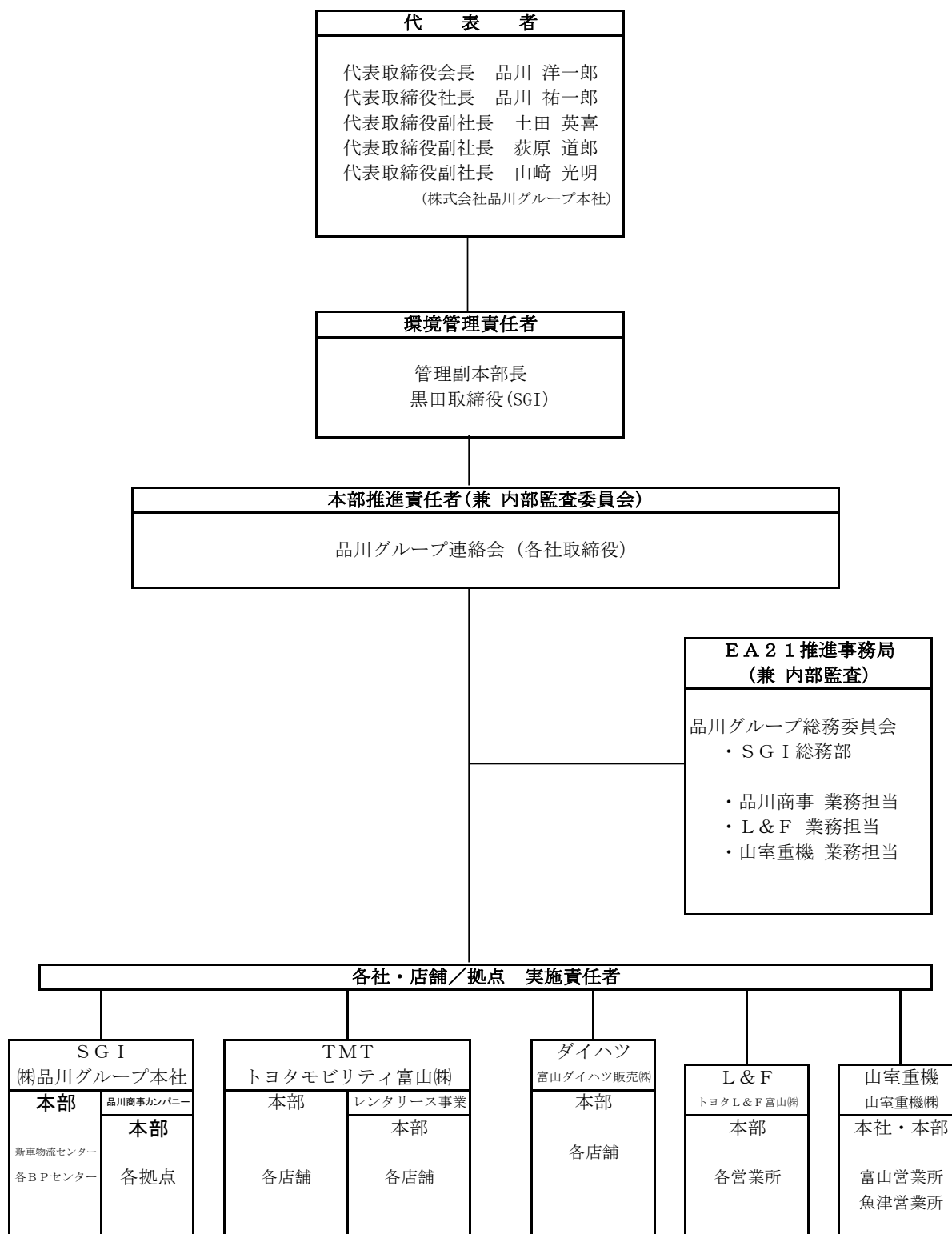
本社：富山県富山市千歳町2丁目5番26号

社内カンパニー：

トコシーカンパニー（不動産管理・賃貸など）

品川商事カンパニー（ENEOSブランドのガソリンスタンド、ダンロップの店舗運営）

3. 環境管理実施体制（組織図）



※全組織・全活動をエコアクション21の対象とする

品川グループ 本社／店舗・営業所 一覧

令和 6年 3月 1日現在

株式会社品川グループ本社							
本社	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-444-4141	68			※ 1
ウィズキッズしながわ	930-0018	富山市千歳町三丁目7番31号	076-432-6625	13			
新車物流センター	930-0275	中新川郡立山町利田214番1	076-462-0753	43			
富山ボデーテクノセンター	930-0985	富山市田中町1丁目16番40号	076-432-8255	22	※移管		※ 2
山室ボデーテクノセンター	939-8558	富山市山室新町41番地	076-495-7710	23	※移管		※ 4
品川商事カンパニー							
本部	930-0985	富山市田中町1丁目16番40号	076-431-8766	4			※ 2
富山営業所・タイヤセレクト富山	930-0985	富山市田中町1丁目16番40号	076-493-1500	20			※ 2
高岡営業所	933-0946	高岡市昭和町2丁目1番32号	0766-22-8479	7			
魚津営業所	937-0018	魚津市西尾崎1563番地	0765-22-5142	6			
砺波営業所	939-1327	砺波市五郎丸24番地	0763-32-1541	4			
本町SS	930-0029	富山市本町6番17号	076-432-2602	6			
牛島SS	930-0856	富山市牛島新町4番4号	076-432-2626	10			
根塚SS	939-8204	富山市根塚町4丁目3番地2	076-493-3111	8			
魚津SS	937-0805	魚津市本江1118番地	0765-22-1572	5			

トヨタモビリティ富山株式会社							
本社・本部	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-432-4141	41			※ 1
中古車部・中古車Garage新庄商品化センター	930-0992	富山市新庄町四丁目3番8号	076-422-2856	23			※ 6
中古車Garage射水商品化センター	939-0243	射水市下若30-1	0766-52-7602	10			
販売店営業部	939-8558	富山市山室新町41番地	076-420-4200	15			※ 4
法人・リース営業部	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-431-8115	46			※ 3
ランドマークSOTY（双代）	930-0971	富山市双代町1番6号	076-424-2401	32			
ランドマークSOTY 稲荷	930-0012	富山市稲荷町4丁目9番11号	076-439-8118	13			
Gスクエア五福	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-431-8117	34			※ 3
Y e t o w n 山室	939-8558	富山市山室新町41番地	076-492-1111	27			※ 4
富山インター	939-8071	富山市上袋681番地	076-421-5055	9			
富山南	939-8214	富山市黒崎128番地1	076-421-8110	27			
掛尾	939-8215	富山市掛尾栄町5番5	076-491-6677	14			
富山みらい北	931-8326	富山市上野新町7番58号	076-438-4545	17			
高岡	933-0954	高岡市美幸町1丁目1番72号	0766-23-5115	43			
高岡駅南	933-0813	高岡市下伏間江363番地	0766-26-8881	29			
S e u l 高岡南	933-0822	高岡市十二町島85番地	0766-63-5211	20			
小杉	939-0351	射水市戸破1723番1	0766-57-1414	20			
砺波	939-1363	砺波市太郎丸三丁目50番地	0763-33-4141	27			
魚津	937-0805	魚津市本江1063番地	0765-24-1616	29			
黒部	938-0801	黒部市荻生8727番地1	0765-54-3111	25			
中古車Garage富山	930-0985	富山市田中町四丁目18番35号	076-433-4141	12			
中古車Garage山室	939-8558	富山市山室新町41番地	076-424-7150	0			※ 4
中古車Garage富山南	939-8222	富山市蜷川120番地1	076-425-1200	0			
中古車Garage高岡	933-0824	高岡市西藤平蔵642番地	0766-63-4433	14			
サービス高岡中央	933-0947	高岡市本郷1丁目1番1号	0766-21-4143	9			※ 5
サービス蜷川	939-8222	富山市蜷川271番1	076-429-1363	14			
レクサス富山	930-0985	富山市田中町5丁目2番6号	076-491-4141	24			
レクサスC P O 富山	930-0975	富山市西長江1丁目2番6号	076-423-4143	13			
レクサスC P O 高岡中央	933-0947	高岡市本郷1丁目1番1号	0766-21-4144	13			※ 5
トヨタレンタリース事業							
（本社）	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号		0			※ 1
営業本部	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-432-8147	2			※ 3
富山店	930-0019	富山市弥生町2丁目4-1	076-432-0100	14	※移転		
富山駅前店	930-0007	富山市宝町1-1-12	076-433-0100	29			
富山空港店	939-8252	富山市秋ヶ島81-3	076-429-8888	9			
黒部宇奈月温泉駅前店	938-0802	黒部市若栗3255	0765-52-0100	7			
高岡店	933-0878	高岡市東上関326	0766-21-0100	32			
新高岡駅前店	933-0852	高岡市下黒田3016	0766-26-1070	0			

富山ダイハツ販売株式会社							
本社	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-442-1441	22			※ 1
富山店	930-0985	富山市田中町五丁目2番21号	076-425-6615	58			
グランジュエル富山今泉店	939-8281	富山市今泉西部町3番12	076-493-6550	17			
富山南店	939-8177	富山市安養寺465番地の1	076-428-0505	16			
高岡店	933-0947	高岡市本郷一丁目3番7号	0766-21-2433	38			
高岡南店	933-0806	高岡市赤祖父714番地	0766-21-0500	16			
魚津店	937-0017	魚津市江口1101番地の3	0765-24-1771	18			
砺波店	939-1364	砺波市豊町一丁目15番15号	0763-33-4023	19	※仮店舗		
研修センター	930-0992	富山市新庄町四丁目3番8号	076-422-2066	2			※ 6

トヨタL&F富山株式会社							
（本社）	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号		0			※ 1
営業本部・富山営業所	930-0985	富山市田中町四丁目18番30号	076-439-3333	35			
高岡営業所	933-0073	高岡市荻布字前向174番1	0766-22-7373	20			
魚津営業所	937-0017	魚津市江口454番地	0765-22-1238	10			※ 7

山室重機株式会社							
本社・富山営業所	939-8008	富山市山室新町41番地	076-424-1611	19			※ 4
魚津営業所	937-0017	魚津市江口454番地	0765-24-7166	7			※ 7

※ 1～※ 7：同一敷地内

4. 環境管理実施体制における役割

令和 6年 3月 1日現在

担当	役割・責任・権限
代表者 (S G I 社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し ・環境活動の実施に必要な人材、設備、費用、時間の準備 ・代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者 (管理部門責任者)	・環境活動の構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
本部推進責任者	・自社／自部門における環境活動の責任者 ・自社／自部門における環境方針の周知 ・自社／自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自社／自部門の従業員に対する教育訓練の実施
内部監査委員会	・内部監査に基づき改善が必要な事項に対する進捗状況及び改善の確認 ・内部監査の結果及び是正措置等を代表者へ報告
EA21推進事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画原案の作成 ・環境活動の実績集計及び文書類等の作成、保管 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境レポートの作成、公開
内 部 監 査	・内部監査計画の策定 ・環境活動の実施状況を監査 ・内部監査結果に基づき改善が必要な事項に対する進捗状況及び改善の確認
各社・店舗／拠点 実施責任者	・自店舗／自拠点における環境活動の責任者 ・自店舗／自拠点における環境方針の周知 ・自店舗／自拠点の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全社・全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標と実績

項 目	暫定基準 (2022年度)	1年目目標 (2023年度)	本年度実績 (2023年度)	達成率	削減率	達成度
1. 省エネルギーの推進	総量	総量	総量			
CO2排出量の低減・CO2 ※注1・注2	総量 6,758,897 kg-CO2	基準年度 2022年 削減率1% 総量 6,691,308	基準年度 2022年 削減率1% 6,758,897	99.0%	100.0%	△
電力	(kwh) 8,254,159	8,171,617	※注2 8,304,608	98.4%	100.6%	△
都市ガス	(Nm) 38,280	37,897	45,280	83.7%	118.3%	×
LPG	(kg) 2,472	2,447	206	1185.4%	8.4%	○
ガソリン	(L) 768,337	760,654	635,518	119.7%	82.7%	○
軽油	(L) 305,771	302,713	273,454	110.7%	89.4%	○
灯油	(L) 18,242	18,060	5,330	338.8%	29.2%	○
2. 廃棄物の低減	総量	削減率 1 %	目標削減率 1 %			
① 一般廃棄物	総量 118,616 kg	削減率 1 % 総量 117,430	目標削減率 1 % 総量 114,453	102.6%	96.5%	○
② 産業廃棄物	総量 523,387 kg	削減率 1 % 総量 518,153 kg	目標削減率 1 % 総量 517,704 kg	100.1%	98.9%	○
3. 水使用量の削減	総量 45,397 m ³	削減率 1 % 総量 44,943 m ³	目標削減率 1 % 総量 41,300 m ³	108.8%	91.0%	○
4. 化学物質使用量の適正管理	総量	削減率 適正管理 (水性塗料に切替) kg	適正管理 (水性塗料に切替) 総量 kg			
塗装用シンナーの適正管理 (と削減)	kg	kg	kg			
5. グリーン購入の推進	事務用品10品目増	事務用品14品目増	事務用品15品目増			○
6. 環境配慮型製品・サービスの促進	定性的な実施・継続	グリーンエネルギー車、省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組	グリーンエネルギー車、省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組			—
社会貢献活動等	myroute普及促進 クリーン大作戦 献血運動	myroute普及促進 クリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes	myroute普及促進 クリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes			○

(注1) 基準値・目標値の購入電力の排出係数は北陸電力平成28年度版 0.624 kg-CO2/kWhを使用した。
(注2) 実績値の購入電力の排出係数は北陸電力2021年度版 0.484 kg-CO2/kWhを使用した。

* 達成度について
○: 目標達成(100%以上)
△: 目標未達(90%以上)
×: 目標未達(90%未満)

×項目について

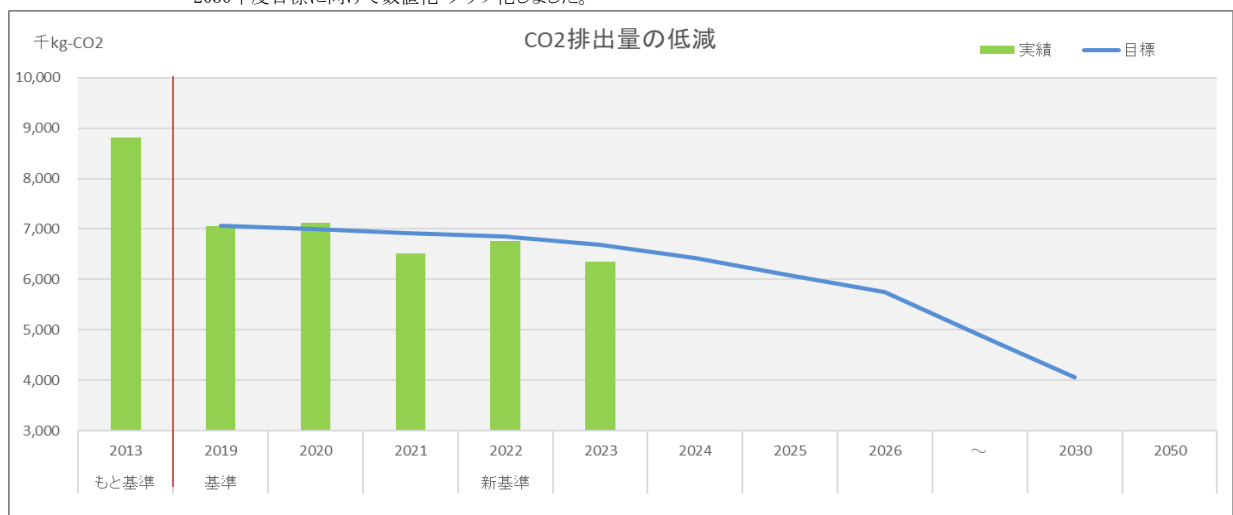
- ・電力は新型コロナウイルス対策(感染拡大防止の観点)からエアコンと換気を併用した為に増加
- ・水使用量は天候に左右されるが、冬期を中心に大幅に減少
- ・産業廃棄物は減少傾向(今年度は店舗の新築や増築工事が前年度より少なかった)

6. 環境経営目標の中長期目標

項 目	暫定基準 (2022年度)	1年目目標 (2023年度)	2年目目標 (2024年度)	3年目目標 (2025年度)	4年目目標 (2026年度)	30年度目標 (2030年度)
1. 省エネルギーの推進	総量	総量	総量	総量	総量	総量
CO2排出量の低減 ・CO2 ※注1・注2	総量 6,758,897 kg-CO2	基準年度 2022年 削減率1% 総量 6,691,308	基準年度 2022年 削減率5% 総量 6,420,952	基準年度 2022年 削減率10% 総量 6,083,007 ※注1	基準年度 2022年 削減率15% 総量 5,745,062 ※注3	基準年度 2022年 削減率40% 総量 4,055,338 ※注3
電力	(kwh) 8,254,159	8,171,617	7,841,451	7,428,743	7,016,035	4,952,495
都市ガス	(Nm ³) 38,280	37,897	36,366	34,452	32,538	22,968
LPG	(kg) 2,472	2,447	2,348	2,225	2,101	1,483
ガソリン	(L) 768,337	760,654	729,920	691,503	653,086	461,002
軽油	(L) 305,771	302,713	290,482	275,194	259,905	183,463
灯油	(L) 18,242	18,060	17,330	16,418	15,506	10,945
2. 廃棄物の低減	総量	削減率 1 %	削減率 2 %	削減率 3 %	削減率 4 %	削減率 8 %
① 一般廃棄物	総量 118,616 kg	削減率 1 % 総量 117,430	削減率 2 % 総量 116,244	削減率 3 % 総量 115,058	削減率 4 % 総量 113,871	削減率 8 % 総量 109,127
② 産業廃棄物	総量 523,387 kg	削減率 1 % 総量 518,153 kg	削減率 2 % 総量 512,919 kg	削減率 3 % 総量 507,685 kg	削減率 4 % 総量 502,452 kg	削減率 8 % 総量 481,516 kg
3. 水使用量の削減	総量	削減率 1 %	削減率 2 %	削減率 3 %	削減率 4 %	削減率 8 %
水使用量	45,397 m ³	総量 44,943 m ³	総量 44,489 m ³	総量 44,035 m ³	総量 43,581 m ³	総量 41,765 m ³
4. 化学物質使用量の適正管理	総量	削減率 適正管理 総量 (水性塗料に切替) kg	削減率 適正管理 総量 (水性塗料に切替) kg	削減率 適正管理 総量 (水性塗料に切替) kg	削減率 適正管理 総量 (水性塗料に切替) kg	削減率 適正管理 総量 (水性塗料に切替) kg
5. グリーン購入の推進	事務用品10品目増	事務用品14品目増	事務用品17品目増	事務用品20品目増	事務用品23品目増	事務用品40品目増
6. 環境配慮型製品・サービスの促進	定性的な実施・継続	グリーンエネルギー車、 省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組	グリーンエネルギー車、 省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組	グリーンエネルギー車、 省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組	グリーンエネルギー車、 省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組	グリーンエネルギー車、 省エネルギー車の促進 「エコ通勤」取組
社会貢献活動等	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes	myroute普及促進 グリーン大作戦 献血運動 トヨタ Social Fes

※原単位は売上以外でも可

(注1) 購入電力の排出係数は北陸電力平成28年度版 0.624 kg-CO₂/kWhを使用した。
(注2) 実績値の購入電力の排出係数は北陸電力2021年度版 0.484 kg-CO₂/kWhを使用する。
(注3) 2030年度温室効果ガス2013年度比46%削減に向けて2023年度よりCO₂排出量目標を暫定的に見直した。
2030年度目標に向けて数値化・グラフ化しました。



7. 環境経営計画・評価と今後(次年度)の取り組み

1. 電気使用量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
空調機器の温度管理継続 夏季 26℃ 冬季 22℃ の徹底 クールビズ・ウォームビズ・ ビジネスカジュアルの実践 ※店頭ポスターでお客様への呼掛け	△ ○	設定温度の徹底 定期的に発信や研修を実施 カーボンニュートラルに向けたCO2排出量 目標暫定見直しと発電量を考慮した随時見直し
窓側照明・不在時の消灯の徹底 拠点別の光熱費の意識付けによる削減 残業削減によるエネルギー使用削減	○ △ ○	意識付けして実施 好事例を他拠点に展開しながら継続 実残業管理・定時フル稼働の継続実施

2. ガソリン・軽油の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
社内でのエコドライブの推進	○	環境に配慮した車・産業車両の増加・活用
社員の店舗移動減を推奨	△	対面会議が増える中であっても 可能な範囲でWeb会議を継続利用

3. 都市ガス・水使用量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
拠点別の工夫の好事例を 他拠点・グループ各社にも展開	○	好事例をグループ内で共有 店舗・会社間の相互チェックで意識向上 見学会・勉強会の継続的实施

4. 廃棄物排出量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
産業廃棄物の適正な管理・分別 一般廃棄物の削減に取り組む	○ ○	廃棄物の分別の徹底 各拠点での工夫と店舗展開 電子マニフェストの導入拡大

5. 化学物質の適正管理

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
適正な管理と使用量の削減・確認 消防避難訓練の継続実施・展開	○ △	使用量を削減し、継続して適正に管理 訓練を年間スケジュールに組み込む 機器の点検も並行して実施

6. グリーン購入の推進

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
現状の可視化と意識付け	○	マニュアル化する

7. 社会貢献活動の継続

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
周辺地域清掃等 献血活動 トヨタ Social Fes	○	店舗独自の取り組みを増加 グループ内他社と連携して取り組む

※次年度の目標

グループ会社再編・業務の集約化が進む中で、エコアクション21の活動を一体化し
各社各店舗の弱い部分を補完しながら実施している。
グループの強みを活かし、協業化・効率化に併せて事例展開と共有に取り組む

8. 環境活動取り組み事例

1. グループ会社再編による効率化・新たな取り組み 2023年10月 トヨタモビリティ富山 砺波新店舗開始



2. 品川グループ献血運動の実施(毎年7月)



3. ビジネスカジュアル導入

2024年1月11日

品川グループ各社
関係者各位

「ビジネスカジュアル」開催のご案内

品川グループのドレスコードが「ビジネスカジュアル」になったことに伴い、「ビジネスカジュアル」をテーマに、下記の通り研修を開催しますのでご参加をお願いします

□ 目的

- ・「ビジネスカジュアル」に対する知識を身につける
- ・服装への意識をアップデートし、自ら考えることができるようになる

□ 日時

① 1月18日(木)	10:00~11:00	⇒ ここをクリックして会議に参加してください 会議 ID: 496 625 423 328 パスワード: iDzfjn
② 1月18日(木)	16:00~17:00	⇒ ここをクリックして会議に参加してください 会議 ID: 456 659 696 643 パスワード: Q5DFs8
③ 1月24日(水)	10:00~11:00	⇒ ここをクリックして会議に参加してください 会議 ID: 495 964 070 572 パスワード: Qq3QaM
④ 1月25日(木)	16:00~17:00	⇒ ここをクリックして会議に参加してください 会議 ID: 487 276 260 646 パスワード: 4l8nBF

※同じ内容で4回開催します。①~④のいずれかに参加してください
※オンラインURL (Teams) は日程ごとに異なりますので間違えないようお願いします

4. エコアクション21の取組みへのグループ一体化 エコ活動取組みの効率化



5. 消防設備点検・避難訓練(各社)



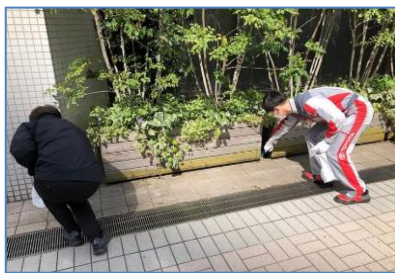
5. 環境配慮運転・交通安全の普及活動



6. 植樹・緑化推進



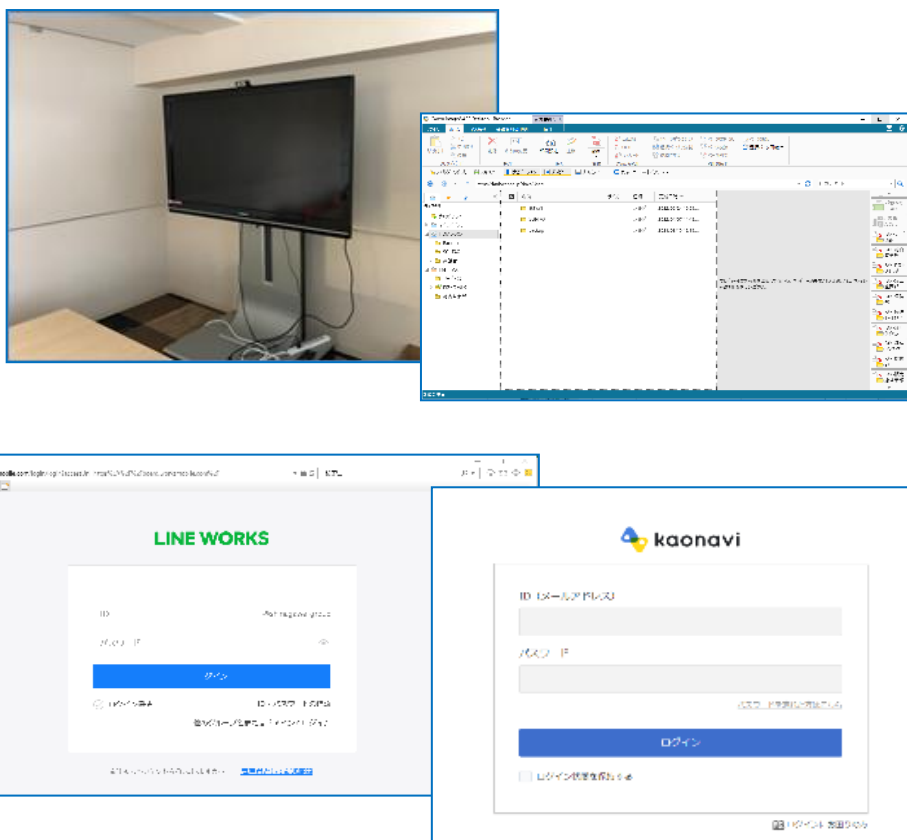
8. 地域清掃活動・社会貢献活動等



9. エネルギー消費削減の継続的取組み(各拠点)



10. Web活用・ペーパーレスの継続推進



11. 高圧EVステーション運用開始 (2023. 05)



11. 今後 各新店舗営業開始(順次)

9. 環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条令等		要求事項
廃棄物	廃棄物処理法	・産業廃棄物の適正処理 (R7.6.1)
		・収集、運搬、処理委託業者との契約締結
		・マニフェスト交付状況の報告
	プラスチック資源循環法	・プラスチック廃棄物排出抑制・再資源化 (R7.6.1)
水質	水質汚濁防止法	・公共用水域に配水する特定施設の設置届出 (R7.6.1)
	下水道法	・下水道への不適物放流禁止の順守 (R7.6.1)
	浄化槽法	・保守点検ならびに水質検査の実施 (R7.6.1)
大気	自動車Nox・PM法	・自動車排出窒素酸化物の排出抑制に努める (R6.4.1)
騒音	騒音規制法	・規制基準の順守
		・騒音発生施設の設置の届出 (R6.4.1)
振動	振動規制法	・規制基準の順守
		・振動発生施設の設置の届出 (R6.4.1)
化学物質	労働安全衛生法	・化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置 (R7.6.1)
	化管法 (PRTR法)	・事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進 (R7.6.1)
	消防法	・指定数量内貯蔵の厳守と有資格者の配置及び届出 (R7.6.1)
	(地方火災予防条例)	
再資源化	自動車リサイクル法	・使用済自動車の廃棄引渡業務の履行 (R7.6.1)
建築	建築物省エネ法	・届出義務の履行 (300m ² 以上の新築、増改築) (R7.6.1)
温暖化	フロン排出抑制法	・簡易点検及び定期点検の実施 ・機器の廃棄時のフロンの回収依頼 (引取証明書の受領等) (R7.6.1)
	(地球温暖化対策推進法)	(温室効果ガス46%削減) (R8.1.1)

2. 順守状況及び違反、訴訟等の有無

当社は、自社の遵守状況評価で問題が無い事を確認しました。
尚、環境関連法規への違反はありませんでした。
関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による見直し

代表者

品川

代表者による全体の評価と見直し記録

実施日： 2023年 10月 20日

管理責任者の報告及び改善への提案	代表者のコメント		
[環境指標の達成状況]	変更の必要性:	☒ 有り	☐ 無し
10項目中8項目達成 電力:△, 都市ガス:×, LPG:○, ガソリン:○, 軽油:○ 灯油:○, 一般廃棄物:○, 産業廃棄物:○ 水使用量の削減:○, 社会貢献活動等:○	コロナ後になりましたが、引き続き感染防止等の健康経営と環境負荷削減を両立する。 カーボンニュートラル実現に向けた取組みを実施。		
[環境取組みの達成度と課題、今後の活動予定]	変更の必要性:	☒ 有り	☐ 無し
13項目中8項目達成 空調機器の温度管理:△ クールビズ・ウォームビズ・ビジネスカジュアル対策:○ 窓側照明・不在時の消灯の徹底:○ 拠点別の光熱費の意識付けによる削減:△ 残業時間によるエネルギー使用削減の推進:○ 社内でのエコドライブの推進:○ 社員の店舗移動の乗合いと回数減を推奨:△ 拠点別の好事例を多拠点・グループ他社に展開:○ 産業廃棄物の適正な管理・分別:○ 化学物質の適正な管理と使用量の削減:○ 全店舗避難訓練の実施:△ グリーン購入の意識付け:○ 社会貢献活動の継続:○	換気と空調の併用などで、温度設定の意識が薄れる傾向がある。再度、周知徹底が必要です。また自然環境の影響が使用量に大きく影響する。併せて店舗新築や組織再編が続く中で環境負荷の変動が続くが、取組みを拡大していく。 一方、Web会議やフリーアドレス化を継続的に進める事で、ペーパーレス化などが広まっている。まだ一部門ではあるがテレワーク(在宅勤務)の実施継続。DXの推進。 グループ会社合併・業務効率化の利点とスケールメリットを活かしきれていないのが現状。グループとしての活動や電子マニフェスト利用拡大など好事例の水平展開を推進していく。		
[法規制の変更と遵守状況]	変更の必要性:	☐ 有り	☒ 無し
問題無し	今後も法改正を確認しながら法規制を遵守する また、監査部門を強化し、ミスや不正未然防止のための活動を実施する		
[内部監査の結果と是正状況]	変更の必要性:	☐ 有り	☒ 無し
店舗清掃等の一部改善点が見られたが対応済	今後も店舗と本部が協力し、相互チェックも含めて更に改善を継続する		
[外部からの苦情と対応]	変更の必要性:	☐ 有り	☒ 無し
一部苦情がありましたが対応済み	地域活動(安全運転教室)等を通して近隣とのコミュニケーションを取り続ける。過去の苦情にも忘れず対応し続ける。適切な対応を取るよう心掛ける。		
[総括]			
新型コロナが「5類」に移行して、薄れていた環境意識をコロナ前と同等、またはそれ以上に高めていく事が大事。Web会議やテレワークなど環境・業務ともに効率が良いものは継続していきます。引き続き各種ツールを用いたチェックを行い、化学物質の適正な使用・管理など、環境関連法令を遵守しながらの活動を行っています。 グループ会社の再編等の中で、環境に対してもグループとしての活動を続けます。			

